

Press Release

総合教育
生涯学習機関近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

AI(人工知能)を使った英語授業の効果を課外授業で検証 小学生が清水寺にて外国人観光客へインタビューを実施

総合教育・生涯学習機関の株式会社 ECC（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山口勝美、以下、ECC）と近畿大学附属小学校（所在地：奈良市、校長：森田哲、以下、近大附小）では、ICT を活用した先端授業の一環として、英語の授業に ECC が開発した外国語対話アプリ「おもてな City へようこそ！」を導入し、児童全員の発話力の向上に取り組んでいます。同小学校では毎年、英語でのコミュニケーションの実践として課外授業を実施しています。この課外授業は外国人に英語でインタビューをするというものです。今回この課外授業にて、対話アプリを使った英会話シミュレーションの効果を検証します。

AIを導入した英語教育の成果と外国人にインタビューする小学生の姿を、ぜひ現地にて取材いただければと思います。

▼ 課外授業概要

11月30日（金）9：30頃～14：00頃

場所：清水寺（京都市東山区）



近大附小では9月からアプリ「導入テスト」を実施しています。



昨年、金閣寺にて実施した課外授業の様子。

■ ECC と近大附小、共同で実践的な ICT による英語学習の環境づくり

近大附小ではICT 教育とグローバル社会で活躍できる人材育成に力をいれており、すでに iPad120 台を導入、電子黒板を利用した授業もはじまっています。今後は、ECC と共同でさらに実践的なICT英語学習の環境づくりに取り組みます。

■ 文部科学省「学習指導要領改訂」によって、一層高まる英語学習の重要性

小学校では文部科学省が発表した学習指導要領改訂により、平成 32 年度から英語に親しむ活動の開始を小学 3 年生に早め、5 年生から英語が正式教科とされ、英語学習の重要度がますます高まっています。近大附小では創立当時(昭和29年)より英語教育を実施。現在では全学年で週に2コマの英語の授業を行っています。

▼【おもてな City へようこそ！】を導入しての実証実験について <https://omotena-city.com/>

アプリのキャラクターと、様々なシチュエーションや話題で英語で会話を行うことで、語学学習でもっとも不足しがちな「会話練習」を効率的に行える体験型の会話シミュレーションアプリです。プレイヤーの発話内容により、キャラクターの反応やストーリー展開が変化するので、一定の会話パターンを覚えるだけでは、会話が成立しません。相手との会話内容により、適切な内容の会話が求められるので「聞く」「話す」を組み合わせた実践的な会話練習が実現できます。



・株式会社 ECC <http://www.ecc.co.jp/>

ECCは1962年創業以来、総合教育・生涯学習機関として様々な教育活動を展開。56年以上にわたる実績と信頼を強みに持ち、外国語教育市場でシェアNo.1(※1)の企業です。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることをECCの使命としています。

(※1)「語学ビジネス徹底調査レポート 2017」矢野経済研究所

・近畿大学附属小学校 <http://www.fes-kinder.kindai.ac.jp/fes/>

近畿大学附属小学校は、奈良市北部あやめ池の自然豊かな環境の中、教育目標「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人になろう」の実現を目指す学校です。総合大学の附属校としての教育環境を活用し、高い進路保障と柔軟な進路選択を両立させながら「自立した学習者の育成」と「社会に役立つ人材の育成」を教育目標としており、iPadを利用したICT教育やオックスフォードドラゴンスクール短期留学といった学習やグローバル教育など、先進的な教育を行っています。

<本資料の配布先>

大阪教育記者クラブ、奈良県文化・教育記者クラブ、奈良市政記者クラブ

<本件に関するお問合せ先>

・株式会社 ECC 総合研究所・マーケティング本部広告広報部 担当：東出（月～金 10:00～19:00）

TEL：06-6352-0148 FAX：06-6352-0138 E-mail：kouhou@ecc.co.jp

・近畿大学附属小学校・幼稚園 担当：角野、熊井

TEL：0742-53-1200 FAX：0742-53-1201 E-mail：kindai-fusyo@itp.kindai.ac.jp